

終戦4日後 逝った母に誓う

主婦

(兵庫県 81)

戦後70年。素晴らしい復興を

遂げ、平和で安全な日本を誇りに思います。しかし安全保障関連法案を巡り不穏な空気に包まれています。自衛隊の方々が戦争に巻き込まれることは絶対に許せません。安倍晋三首相は約束してください。自身がおっしゃった「(他国の)戦争に巻き込まれることは絶対はない」ということを決して覆さないで。

父は私が幼い頃に亡くなり、母は教員をしながら私たち4人の子どもを育ててくれましたが結核になり休職しました。1945年7月、山口県下松市にあった家の近くの石油工場が空襲

に遭い、重病の母を大八車に乗せて、父の実家があった徳山市(現周南市)に疎開しました。

8月15日、終戦を知った私は出入りを禁じられている母の部屋に飛び込み「戦争終わったよ」と知らせました。母はとても喜び「兄ちゃんたちが帰ってくるね」と最期の言葉を残し、安心したのか4日後に逝ってしまいました。長男は兵隊、次男は学徒動員に駆り出され消息さえ分からぬ日々。その後、2人は無事戻りましたが、母はどんなにか会いたかったことでしょう。亡くなって70年の母に誓いたいのです。「お母さんのようにつらい悲しい思いは子ども、孫にさせることはない」と。